

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(1500円) 実用新案登録願

昭和46年3月3日

特許庁長官 佐々木 学成

ショウキヤクウン ヨウ

1. 審査の名称 乗客運搬用コンベヤーベルト

2. 考案者

コマキシ フジシマ タカハタ

住所 愛知県小牧市大字高島字高畠 350145

イワタトミユキ

氏名 岩出萬行

3. 実用新案登録出願人

コマキシ キタトヤマ ウタズ

住所 愛知県小牧市大字北外山字野津 3600

トウカイ コウギヨウ

名称 東海ゴム工業株式会社

カワムラミノル

代表者 何村敏

4. 添付書類目録

(1) 明細書 1通

(2) 図面 1通

(3) 願書原本 1通

47-10208-01

# 公開実用 昭和47-10288

## 明細書

1. 本実用新案の名称：乗客連ばん用コンベヤーベルト

### 2. 実用新案登録請求の範囲

巾方向に細長の孔 a1 a2----及び b1 b2----を a1  
a2----と b1 b2----を長手方向に対して一列ごと  
IC方式に孔の位置をかえて多数設けた鋼板 3。

4 を細長の孔 a1 a2----がベルト長手方向に對  
して直角方向の角度をなす様コンベヤーベルト  
の抗張層 5 の上、下に隔離してゴム彈性体 2 中  
に配置したことを特徴とする乗客連ばん用コン  
ベヤーベルト。

### 3. 考案の詳細な説明

この実用新案は、乗客連ばん用コンベヤーベルト  
を改良したものである。

乗客連ばん用に用いられるベルトは乗心地及  
び安定性のためベルト巾方向の剛性が高くベル  
トのオーリー部での屈曲半径を小さくするため

ベルト長手方向に柔軟性があることを考慮しなくてはならない。

従来かかるベルトとして、枕旅館の上、下に金網コードをベルトの長手方向に対して直角方向をなす方向に配置した乗客連ばん用ベルトが考案されている（特公昭42-22904号）

かかるベルトは、巾方向の剛性が大きく長手方向の伸縮があるが、金網コード層をベルトの表面部に凹凸感を与えない様、配置することが困難な上、ベルト表面を完全に平滑にすることが出来ず、乗客に対して満足した足場を提供することが出来なかつた。

この考案は、ベルト表面に凹凸感を感じさせることなく、ベルト巾方向の剛性が大きく、又ベルト長手方向の伸びの大きさ乗客連ばん用コンベヤーべルトを提供することを目的とするものである。

この目的を達成するためこの考案は図に示す様に巾方向に細長の孔a1 a2----及びb1 b2をa1 a2を長手方向に対して一列ごとに交互に孔

の位置をかえて、多段の段の左側板 3. 4 をコンベヤーベルト 1 の抵抗面 5 の上、下に重ねてオムツ在庫 2 中に配置したものである。

切抜孔の形状は長方形、丸形形のいずれでも巾方向に細長のものであればよく構成するは 4 の長手方向の伸縮度に応じ巾方向の段を往復して打ち抜くとい。

第 3 図の実験物は第 2 図の構成 3 を長手方向に引張つて伸びた状態を示したものである。

上述の構成であるので、このうち最初のコンベヤーベルトにて乗客を運ばんするには、コンベヤーベルト 1 の駆動は抵抗面 5 がその役目を果し構成 3. 4 は乗客がこのコンベヤーベルトに乗つた際、構成 3. 4 は巾方向の伸びが全くなく構成 3. 4 間は剛性が非常に高くなり、且乗客に凹凸感を感じさせることがなく安定して足場にて運ばんすることが出来る。

又ベルト駆動用のブーリー部又はテクションブーリー部では構成 3. 4 が長手方向に伸縮自在で、ブーリー部によくなじみ屈曲半径が小さ

く出来る特徴がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は、この考案によるコンベヤーベルトで2種の病巻を配流した断面図。第2図は第1図に配流した鋼板の拡大正面図。第3図は第2図の鋼板を長手方向に伸ばした状態を示す部分正面図で、1はコンベヤーベルト、2はゴム弹性体、3・4は鋼板、a1 a2-----、b1 b2----は鋼板3・4に切抜いた切抜孔、5は枕板等である。

実用新案登録実験人

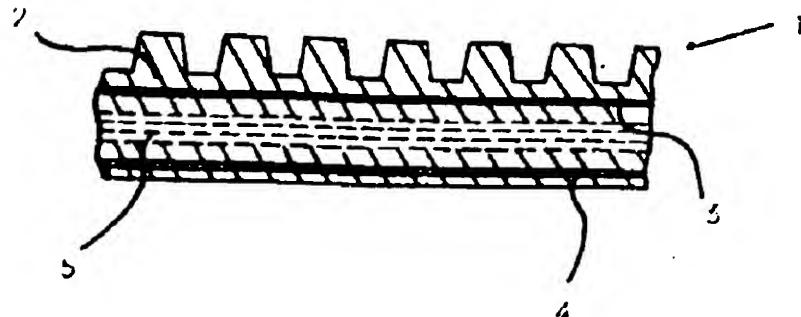
東海企画工業株式会社

代表者 司料 蔡

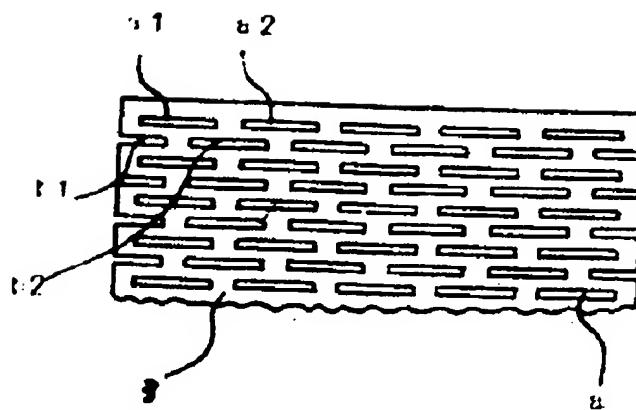


公開実用 昭和 47-10288

第 1 図



第 2 図



第 3 図

